

## 2 東区

### 2-2 山の下中学校区（山の下地区コミュニティ協議会、桃山校区コミュニティ協議会）

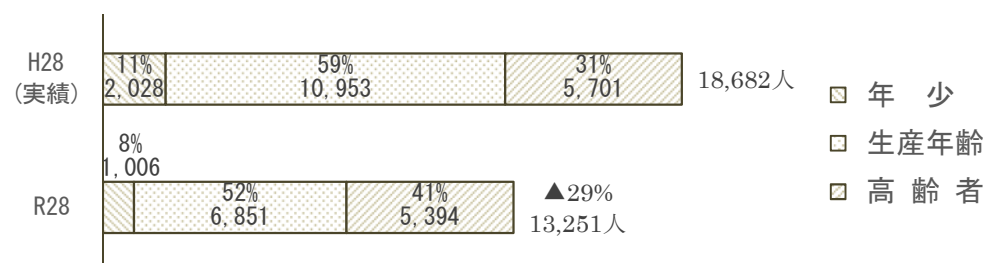
#### 【概要】

##### ① 地域概況、動向

- ・地域内には住宅地が広がっており、市街地を形成する人口集中地区となっている。
- ・国道 113 号沿いの地域で、新潟空港も近隣にあることから、市中心部への交通アクセスが良く、北部には工業地帯が形成されている。
- ・小学校区 2 校区で構成されており、公共施設は住宅地に点在している。

##### ② 将来推計人口【図-1】

- ・人口減少、少子・高齢化が進む。



##### ③ 利用状況、コスト状況及び施設の老朽状況【表-1】

施設種類	施設名	ハード		ソフト		
		老朽化が進んでいる	耐震性に課題がある	コストが高い	利用が少ない・面積が大きい	
		償却率が75%以上か	耐震化率が50%未満か	コスト(※1)が類似施設の平均と比べ高いか	利用率(※2)が該当する類似施設の平均と比べ低い	利用量(※3)が該当する類似施設の平均と比べ大きい
①コミュニティ系施設	山の下まちづくりセンター					
	臨空船江会館					
③図書館	山の下図書館					
⑤ひまわりクラブ	桃山ひまわりクラブ第1			●		●
	桃山ひまわりクラブ第2			●		●
	山の下ひまわりクラブ			●		●
⑦高齢者福祉施設	老人憩の家大山台荘	●				
⑩保育園	大山保育園	●				
	山ノ下保育園	●				
	桃山保育園					
⑪学校教育施設	山の下小学校					●
	桃山小学校	●				
	山の下中学校	●				

- ※1 コスト評価の指標：純経費/利用者数…①⑦、純経費/貸出図書数…③、純経費/児童数…⑤⑪（小学校）、純経費/園児数…⑩、純経費/生徒数…⑪（中学校）
- ※2 利用率評価の指標：利用コマ数/利用可能コマ数…①、貸出図書数/蔵書数…③
- ※3 利用量評価の指標：㎡/児童数…⑤⑪（小学校）、利用者数/㎡/日…⑦、㎡/園児数…⑩、㎡/生徒数…⑪（中学校）

##### ④ 将来に向けた検討事項

I の考え方を基本に、II のそれぞれのサービス機能ごとの考え方に基づいて最適化を検討する必要がある。

##### I 共通の方針に基づく検討事項

- ・誰もが利用できる地域密着施設は将来的に原則 1 か所を目指しつつ、圏域の広さや施設利用率、人口等を勘案し集約化、複合化を検討する必要がある。
- ・特定目的の施設は誰もが利用できる地域密着施設との集約化、複合化を検討する必要がある。

##### II 施設種類ごとの配置方針に基づく検討事項

##### 【コミュニティ系施設】

- ・山の下まちづくりセンター、臨空船江会館は、配置方針に基づき、原則地域に 1 施設をめざし、集約化の可能性を検討する必要がある。（山の下まちづくりセンターは中地区公民館との複合施設。）

##### 【図書館】

- ・山の下図書館は、配置方針に基づき、運営方法の検討を進める必要がある。

##### 【高齢者福祉施設】

- ・老人憩の家大山台荘は、配置方針に基づき、更新を行わないため、多世代交流が可能な地域拠点施設への機能移転を検討する必要がある。

##### 【保育園】

- ・大山保育園、山ノ下保育園、桃山保育園は、配置方針に基づき、地域の教育・保育をけん引する役割や子育てにおける地域のセーフティネットの役割を果たす市立の「基幹保育園」として存続していくか、民営化を進めるかを検討する必要がある。
- ・大山保育園、山ノ下保育園は、新・すこやか未来アクションプラン第 2 期計画、耐用年数（木造 30 年、鉄骨 50 年）に到達していると整理しており、早急に方向性を検討する必要がある。

##### 【学校教育施設】

- ・山の下小学校は小規模校であることから、配置方針にも掲げた学校の適正規模の考え方に基づき、適正配置を検討する必要がある。併せて、当面の施設の効率的な利用を目指し、教育活動や学校運営に支障のない範囲で余裕教室の利活用を検討する必要がある。また、施設の統廃合による更新時期に合わせて、市民の利便性の向上や効率的な管理・利活用につながる多機能化・複合化の検討が必要である。
- ・桃山小学校、山の下中学校は適正規模校であるが、配置方針に基づき、施設の効率的な利用を目指し、余裕教室が生じた場合は、教育活動や学校運営に支障のない範囲で利活用を検討する必要がある。また、施設の老朽化による更新時期に合わせて、市民の利便性の向上や効率的な管理・利活用につながる多機能化・複合化の検討が必要である。

#### ■ 将来推計人口【表-2】（H28.9月末現在の住民基本台帳からの推計）

	H28(実績)	R8	R18	R28	増減(増減率)	
地域全体	18,682 人	17,211 人	15,303 人	13,251 人	▲5,431 人	▲29.1 %
高齢者(65歳以上)	5,701 人	5,704 人	5,491 人	5,394 人	▲307 人	▲5.4 %
生産年齢(15~64歳)	10,953 人	9,939 人	8,534 人	6,851 人	▲4,102 人	▲37.5 %
年少(14歳以下)	2,028 人	1,567 人	1,277 人	1,006 人	▲1,022 人	▲50.4 %

#### ■ 児童生徒・学級数推計(通常学級)【表-3】

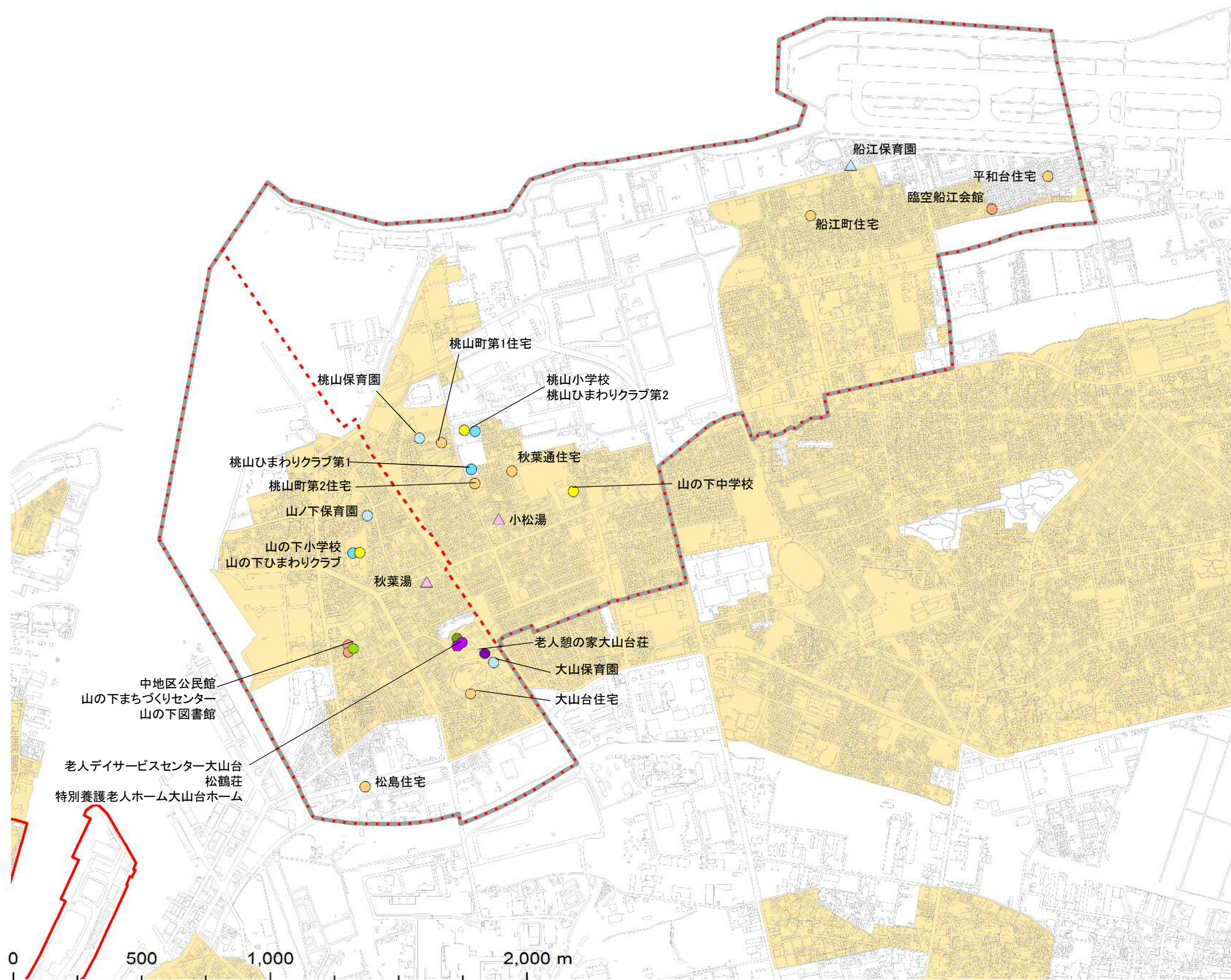
校名	R1(実数値)		R7(推計値)		増減	
	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数
山の下小学校	197	7	200	7	3	0
桃山小学校	519	20	519	18	0	▲2
山の下中学校	404	13	336	11	▲68	▲2

2 東区

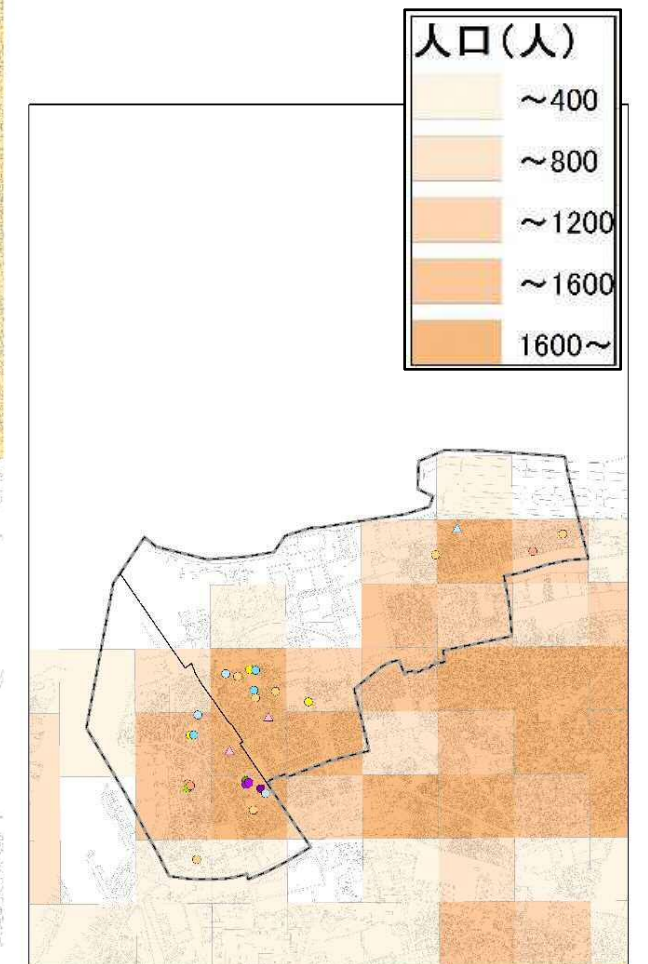
2-2 山の下中学校区 (山の下地区コミュニティ協議会、桃山校区コミュニティ協議会)

凡例

- コミュニティ系施設
  - 図書館
  - ひまわりクラブ
  - 高齢者福祉施設
  - 保育園
  - 学校教育施設
  - 公設サービスセンター
  - 公営住宅
  - 老人ホーム
  - ▲ 保育園(民間施設)
  - ▲ 保養施設(民間施設)
- ⋯ 小学校区
  - ▭ 中学校区
  - ▭ 都市機能誘導区域
  - ▭ 居住誘導区域



平成27年国勢調査  
人口分布図 (500mメッシュ)



※中学校区線・小学校区線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。

2 東区

2-2 山の下中学校区（山の下地区コミュニティ協議会、桃山校区コミュニティ協議会）

■ 施設一覧【表-4】

施設分類	分析分類 ※1	施設名	施設基本情報							配置情報					コスト・利用情報					分析 領域	
			圏域 区分	複合 施設	建築年	償却率 (%) ※2	耐震化 (%)	想定 更新 時期 ※3	使用面積 (㎡)	用途地域	コミュニティ 協議会	避難所 ※4	危険区域			コスト		利用率・利用量			
													土砂	津波	洪水	実績(全市平均)	偏差値	実績(全市平均)	実績(全市平均)		偏差値
コミュニティ系施設	B	山の下まちづくりセンター	Ⅲ. 地域	1	S52 ~ H19	70	100	R19	978.65	近隣商業地域	山の下地区			○	○	361.0 円/人/回 (928.1)	54.2	44.2 % (26)	-	60.7	1
コミュニティ系施設	B	臨空船江会館	Ⅲ. 地域		H12	38	100	R42	521.53	準工業地域	桃山校区			○		567.0 円/人/回 (928.1)	52.7	30.2 % (26)	-	52.3	1
図書館	D	山の下図書館	Ⅲ. 地域	1	S52 ~ H19	70	100	R19	526.02	近隣商業地域	山の下地区			○	○	295.0 円/冊 (346.7)	52.0	2.4 倍 (1.9)	-	52.5	1
ひまわりクラブ	L	桃山ひまわりクラブ第1	Ⅲ. 地域		H17	59	100	R27	194.47	一種住居	桃山校区			○		15.9 万円/人/年 (14.7)	46.9	3.6 ㎡/児童数 (2.6)	-	38.5	4
ひまわりクラブ	L	桃山ひまわりクラブ第2	Ⅲ. 地域		H26	-	100	R36	260.96	一種住居	桃山校区			○		14.9 万円/人/年 (14.7)	49.7	4.3 ㎡/児童数 (2.6)	-	30.7	4
ひまわりクラブ	L	山の下ひまわりクラブ	Ⅲ. 地域	2	S56 ~ H27	74	97	R23	120.96	一種住居	山の下地区			○		19.5 万円/人/年 (14.7)	37.8	3.2 ㎡/児童数 (2.6)	-	43.3	4
高齢者福祉施設	O	老人憩の家大山台荘	Ⅲ. 地域		S54 ~ H3	91	100	R3	365.12	一種住居	山の下地区					444.0 円/人/回 (952.1)	55.2	54.0 人/日 (51.8)	14.8 人/100㎡/日 (11.5)	55.2	1
保育園	K	大山保育園	Ⅲ. 地域		S53 ~ S55	85	96	H30	730.34	一種住居	山の下地区					98.8 万円/人/年 (115.5)	55.2	7.0 ㎡/園児数 (9.2)	-	58.6	1
保育園	K	山ノ下保育園	Ⅲ. 地域		S45 ~ H15	76	97	H22	520.29	一種住居	山の下地区			○	○	111.9 万円/人/年 (115.5)	51.1	8.1 ㎡/園児数 (9.2)	-	54.1	1
保育園	K	桃山保育園	Ⅲ. 地域		H4	53	100	R34	656.65	一種住居	桃山校区			○	○	107.8 万円/人/年 (115.5)	52.4	8.4 ㎡/園児数 (9.2)	-	52.9	1
学校教育施設	H	山の下小学校	Ⅲ. 地域	2	S56 ~ H27	74	97	R23	6,009.24	一種住居	山の下地区	○		○		80.7 万円/人/年 (83.6)	50.7	29.7 ㎡/人 (24.4)	-	46.5	2
学校教育施設	H	桃山小学校	Ⅲ. 地域		S61 ~ S61	75	100	R28	6,670.78	一種住居	桃山校区	○		○		58.5 万円/人/年 (83.6)	55.8	11.6 ㎡/人 (24.4)	-	58.3	1
学校教育施設	I	山の下中学校	Ⅲ. 地域		S44 ~ H15	86	98	R26	7,883.93	一種住居	桃山校区	○		○	○	67.1 万円/人/年 (91.6)	56.2	17.7 ㎡/人 (31.3)	-	57.2	1
コミュニティ系施設	B	中区公民館	Ⅱ. 区域	1	S52 ~ S58	73	100	R25	2,139.08	近隣商業地域	山の下地区			○	○	1,081.0 円/人/回 (928.1)	48.9	35.4 % (26)	-	55.5	3
公設サービスセンター	O	老人デイサービスセンター大山台	Ⅱ. 区域	3	H11	60	100	R41	116.87	一種住居	山の下地区			○		-		-	-		
老人ホーム	-	松鶴荘	Ⅰ. 全市域	3	S53 ~ H4	80	96	R20	3,059.60	一種住居	山の下地区			○		-		-	-		
老人ホーム	-	特別養護老人ホーム大山台ホーム	Ⅰ. 全市域	3	S54 ~ H18	72	99	R21	5,142.18	一種住居	山の下地区			○		-		-	-		
公営住宅	-	松島住宅	-		S42 ~ H5	84	100	R9	3,001.48	工業地域	山の下地区			○	○	-		-	-		
公営住宅	-	大山台住宅	-		H1 ~ H31	65	100	R31	907.93	一種住居	山の下地区					-		-	-		
公営住宅	-	桃山町第1住宅	-		S38 ~ H11	78	83	R27	20,661.21	一種住居	桃山校区			○	○	-		-	-		
公営住宅	-	桃山町第2住宅	-		S61 ~ S61	71	100	R28	3,303.64	一種住居	桃山校区			○	○	-		-	-		
公営住宅	-	秋葉通住宅	-		S42 ~ H13	73	88	R26	14,813.23	一種住居	桃山校区			○	○	-		-	-		
公営住宅	-	船江町住宅	-		H2 ~ H4	61	100	R32	7,601.43	準工業地域	桃山校区			○	○	-		-	-		
公営住宅	-	平和台住宅	-		S41 ~ H8	100	1	R8	5,189.74	準工業地域	桃山校区			○		-		-	-		

【記載の条件】一覧表掲載情報は、令和2年4月1日現在で財産白書の対象施設を掲載しています。また、コスト・利用情報は、令和元年度財産白書別冊から引用しています。

※1 分析分類欄の英字は、施設のコスト、利用を比較する現状分析の分類を表し、「地域別検討資料について」の「表① 用途分類別分析指標と現状分析の分類」から引用しています。

分析分類欄が「空白」の施設は平成30年度以降に新設又は新規調査した施設であり、現状分析の対象とはならないものの参考として施設情報を掲載しています。

※2 償却率は「減価償却累計額/再調達価額×100」により算出しており、財産上の残存価値（耐用年数からの経過）の基準とし建物老朽化の目安としています。

※3 建替え想定時期は、鉄筋コンクリート及び鉄骨造を60年、木造及び軽量鉄骨造を40年と想定して算出しています。

※4 指定避難所を「○」印、補助避難所を「◇」印で表記しています。

■ その他の施設【表-5】

地域内の国県施設	該当なし
地域内の民間類似施設	船江保育園、秋葉湯、小松湯